

年 組 名前 :

問1

カナダの大学などのチームは、このまま気候変動が進むと、今世紀末までに、海の生物の約9割に悪影響が及ぶ恐れがあると分析しました。チームは、どのような対策強化が必要だと促しましたか。

.....

問2

「化石燃料」とは具体的に、どのようなものと言いますか。いくつか教えてください。

.....

問3

調査では、リスクを4段階に分類しました。このままの状況だと「重大」と「高い」の割合は何%になり、排出量を減らすことで、何%になりますか。

重大.....% 減らすことで.....%

高い.....% 減らすことで.....%

問4

海の生物に、悪影響を及ぼさないためには、普段から、どのようなことに注意を払っておくことが必要でしょうか。あなたの考えを書いてください。

.....

.....

.....

.....

海の生物9割 気候悪影響

気候変動が進むと今世紀末までに、海の生物の約9割に悪影響が及ぶ恐れが強いとの分析を、カナダ・ダルハウジー大などのチームが20日までにまとめた。生態系の変化や生物多様性の喪失、水産物の安定供給に支障が出るとした上で「影響は将来の温室効果ガス排出量に大きく左右される」と指摘、排出削減対策の強化を促した。

チームは、気候変動に伴い水温上昇が激しくなる水深100メートルまでに生息する動物や植物など約2万5千種を分析。影響の受けやすさや新しい環境への適応性などからリスクを「重大」「高い」「中程度」「無視できる」の4段階に分類した。

化石燃料に大きく依存して温室効果ガスの排出が今のペースで続く場合、2・7%の種でリスクが「重大」、84・4%で「高い」となり、合わせて9割近くが今の分布域で生息できなくなるという危険性があると推定。大型で寿命が長く、生息域が限られる種が最も脆弱で、低緯度地域ではサメや

今世紀末 生態系に変化

エイ、哺乳類の75%以上が「重大」または「高い」に該当した。

排出量を減らして産業革命前からの気温上昇を1・5度に抑えると、「重大」は1・3%、「高い」は54・3%にそれぞれ減少。評価した種の98%でリスク軽減が見込めると指摘した。

一方、海域の区分では、沿岸域が高リスクとの結果が得られた。排他的経済水域（EEZ）の漁業対象種で見ると、日本を含むアジアで最も影響が大きいく、排出が今のペースの場合に「重大」や「高い」となる種は計86%に上った。ただし排出を大幅に削減できると、リスクは大きく低減できるとした。

(2022年9月21日付 山梨日日新聞 20面)